

謝罪させられた妻2

美人若女将・鬼畜AV地獄堕ち





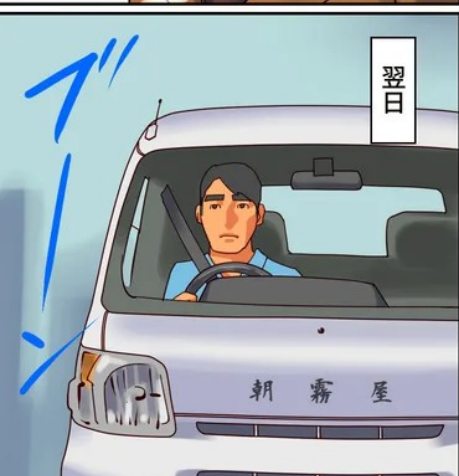
たっぷり気持ちいいこと
してやるぜ? へへへ

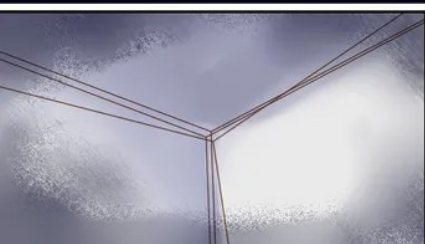
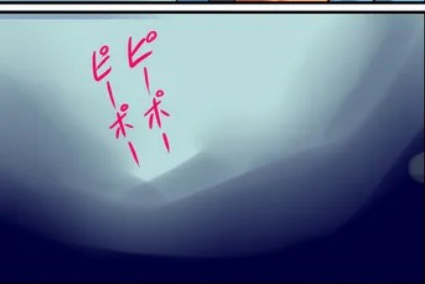


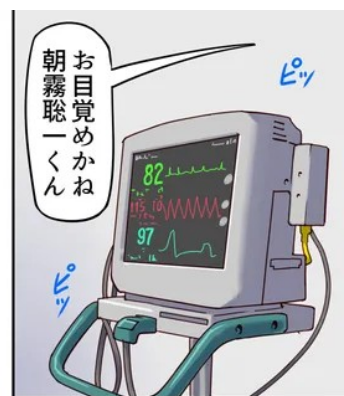
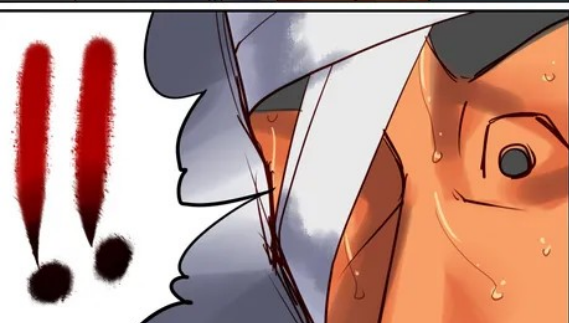
えっ!?













最初の手紙

20××年 9月25日

朝霧聡一様

お元気ですか？あなた。

御見舞にも行かず、連絡もしなくてごめんなさい。でも、こちらもいろいろ大変だったんです。貴方が起こした事故のせいで、拓也さんは大怪我をしてしまったのよ。治療費や慰謝料、その他もろもろ含めて、3億円を払えって言われました。鬼島様のご厚意で、旅館とか車とか、全部買っていたんだけど、まだぜんぜん足りません。足りない分は鬼島様のご厚意で、仕事を紹介していただいて返すことになりました。



どんな仕事かというとき、ちょっと言いにくいけど、AV女優です。
びっくりしないですね。でも、今の私にはこうするしかないんです。

AVデビュー用に撮っていたんだいた宣材写真を同封します。
けっこう凄惨から、あんまり驚かないでね。笑。
愛してるわ、あなた。私、頑張るから。



二番目の手紙

20××年

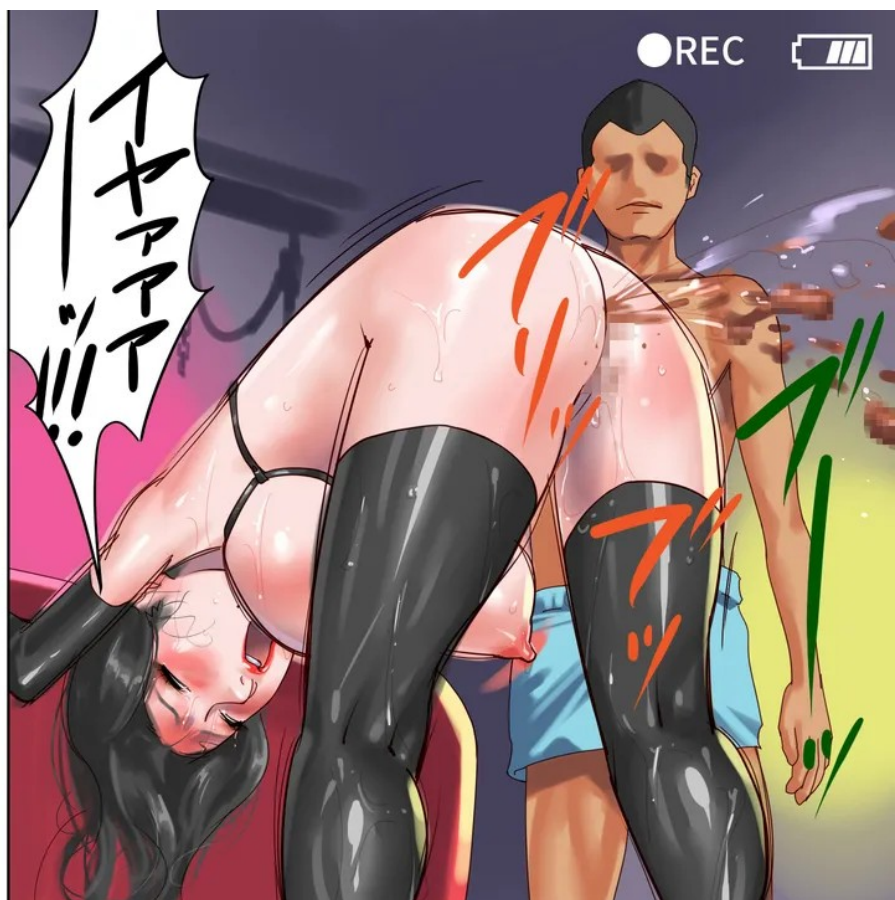
10月16日

朝霧聡一様

お元気ですか？あなた。
そろそろ寒くなってきました。もうすっかり秋ですね。
私のAVデビュー作が完成したので送ります。
内容はアナルフアック物です。アナルセックスは経験が
なかったから、拓也様たちにいっぱい訓練されました(笑)。
撮影は大変だったけど、お陰で良い作品ができたとほめられました。
今後も撮影の予定がたくさんあるから、楽しみにしててね











浣腸をガマンできなかった罰として、
お尻の穴にへびを入れました(笑)。
三人がかりで押さえつけられて、無理やり
入れられちゃいました。
お腹の中でへびが暴れて、すごく痛くて
苦しかったです(笑)。

鬼島映像

鬼島映像の新作、変態AV女優になった美人若女将・朝霧玲香ちゃん！デビュー初めいきなりサントイアでマック！NG一切なし！お喜び、本編収録にも通常のオナニーのプレイを撮らせて頂きたいです！

ズルッ
ズルッ

やめてエッ

ONIAV-102 本編 片面2層 ステレオ MPAG 2

鬼島映像

●無断複製・レンタルを禁じます。
●18歳未満への販売・上映・貸出しはできません。

ONIAV-102

美人若女将・変態AVデビュー

あなたごめんなさい
私、変態AV女優になります

ONIAV-102

三番目の手紙

20××年

11月12日

朝霧聡一様



お元気ですか、あなた。
先日、2本目のAV撮影がありました。
鬼島様に、お前みたいな年増はハードな内容じゃないとDVDが
売れないと言われ、それで、今回は女子プロレスものになりました。
人気AV女優の「鮫口ジュリ」とさんとプロレスで対決して、
負けたほうが罰ゲームっていう内容です。
お前は合気道の心得があるからと、いろいろハンを
つけられました。
結果は惨敗(笑)。いっぱいお仕置きされちゃいました。



ジュリ様の
お仕置きレズリンチ



～変態女将制裁編～

ジュリ様のお仕置きレズリンチ

ONIAV-103 本編 片面2層 ステレオ MPAG 2

鬼島映像



ONIAV-103

●無断複製・レンタルを禁じます。
●18歳未満への販売・上映・貸出しはできません。

四番目の手紙

20××年

12月11日

朝霧聡一様



お元気ですか？あなた。
今日は、今の私の生活について書きますね。
私達の旅館、朝霧屋を鬼島先生に買ってしまったことは、
以前話したわね。
それで私は住むところがなくなってしまったんだけど、鬼島先生のご厚意で、朝霧屋の奴隷女将として住み込みで働かせていただくことになったの。
AV撮影がない時は、従業員の皆様にくき使って頂いてます。



ここが私のお部屋です。素敵でしょ？（笑）。
布団部屋を改装して、皆様が作ってくださいました。
お仕事が無い時は、基本的にここに監禁されています。
写真は、従業員の皆様に見られながら食事をしている所です。
お食事でも、あそこや乳首を棒で突かれて、常にからだを
発情させられています。
わたしは、一日も早く淫乱で変態なAV女優になるためだそうです。
皆様優しいです。毎日嬉しくて泣いています（笑）。



旅館のお仕事が暇な時は、従業員の皆様のおもちゃとして、可愛がっていただいているの。
この写真は、人間ダーツの的になった時です。
裸にされて、目隠しされて、縁側に縛り付けられて、ダーツをいっぱい刺されました。
すっごく痛くて、怖くて、いっぱい泣き叫びました。
旅館中に私の悲鳴が響き渡ったと思います。恥ずかしいわ。笑。
毎日何ゲームもやらされるので、最近ではダーツをみせられただけで、身体がガクガク震えるようになりました。笑。



この写真は、大雪の日に、お客様への見世物として引き回しの刑にかけられているところです。
裸にされて縄で縛られて、中庭を裸足で三時間歩かされました。
番頭さんとジュリさんがコブの付いた縄で私の股間をグリグリとこするので、痛くて辛くて恥ずかしくて、とてもみじめな気持ちになりました。(笑)
でも歩くのが遅いとムチで叩かれるので、がんばって歩きました。

そのあと、少しでも休憩させていただいて、夜はお客様がお食事をなさっている窓の外で、青竹の柱にくくりつけられて、人間燭台になりました。

オッパイと口にロウソクを固定されて、お尻からは浣腸液を入れられて、あそこにはリモコン式のローターを入れられて、お客様のオモチャにされました。

このあと、冷たい池の中に放り込まれたり、さんざんな目にあいました。
おかげで翌日から3日間寝込みました。笑。



五番目の手紙

20××年

12月24日

朝霧聡一様





あなた、お元気ですか。
先日またAVの撮影がありました。
鬼島先生が別の所で飼育しているマゾ奴隷の方と一緒に
責められました。
お互いに浣腸させられたり、レズセックスをさせられました。
お相手の冬花さんは、とっても可愛い方でした。
レズセックスは初めてだったけど、けっこう気持ち良かったです。
笑。



レズセックスの後は、二人で並んで縛られて、厳しい拷問を受けました。
お腹がパンパンになるまで浣腸液を入れられてから、アナル同士をゴムホースで繋がれて苦しまされたり、針とかロウソクとか、いろんなオモチャで可愛がつて頂きました笑。
すごく痛くて苦しくて恥ずかしくて、つらかったです。
助けてください、あなた。

六番目の手紙

20××年

1月15日

朝霧聡一様





お元気ですか、あなた。もうすっかり冬ですね。
先日、鬼島様のご命令で、DVDを買ってくださったファンの
皆様を招待して、感謝イベントをやったの。
朝霧屋の大広間を会場にして、ファンの皆様と交流しました。
この写真はステージで裸踊りをしてるところです。
すごく恥ずかしくてつらかったけど、頑張って踊ったよ、私。
拒否したらあなたの命があぶないって言われたら、
やるしかないよね。



借金変態若女将・朝霧玲香
ファン感謝イベントやりました!

あなたごめんなさい
玲香、ファンの皆様の
肉便器になります



借金変態若女将・朝霧玲香

ファン感謝イベントやりました!

ONIAV-105 本編 片面2層 ステレオ MPAG 2

鬼島映像



ONIAV-105

●無断複製・レンタルを禁じます。
●18歳未満への販売・上映・貸出しはできません。

七番目の手紙

20××年

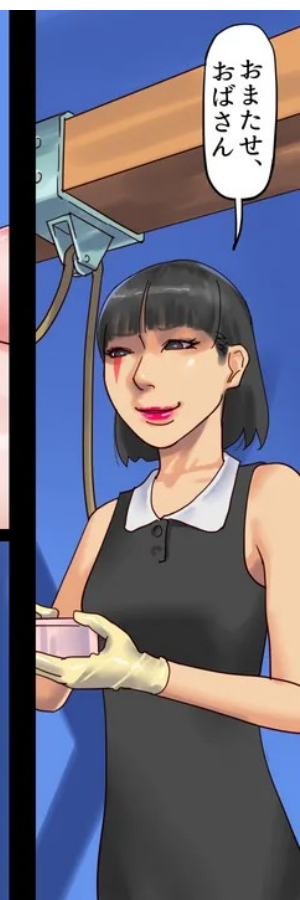
1月
28日

朝霧聡一様





お元気ですか、あなた。
前に競演したジュリさんがAV監督としてデビューすることになったのだけど、私を主演に抜擢してくれたの！
内容が過激すぎて他に使える女優さんがいなかったんですって。
普通だったら考えられないようなものを、お尻やあそこにいれる意欲作よ。
企画を聞いた時必死に許して下さいってお願いしたんだけど、だめでした笑。
ちよつと刺激が強いかもしれないけど、ちゃんと見て頂戴ね。







女体破壊！アナル拡張！
オマ○コにムカデ挿入！
汚辱に悶え濡れる人妻！

ONIAV-112 本編 片面2層 ステレオ MPAG 2

鬼島映像



変態若女将・
異物挿入拷問

ONIAV-112



ぶつといの、
入れて下さい！

変態若女将・異物挿入拷問

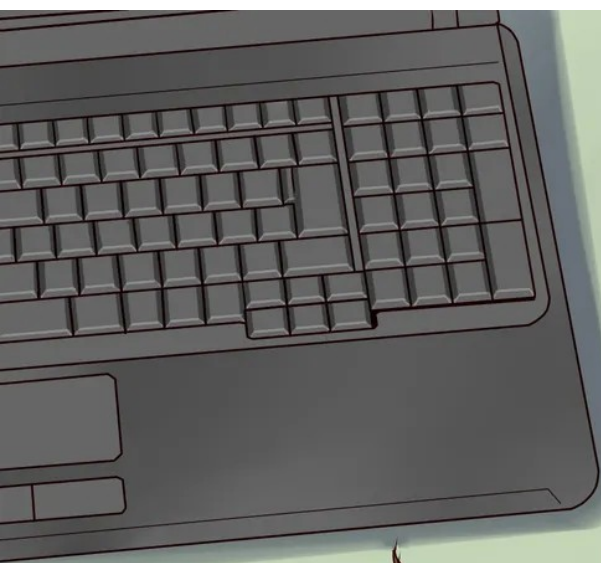
●無断複製・レンタルを禁じます。
●18歳未満への販売・上映・貸出しはできません。

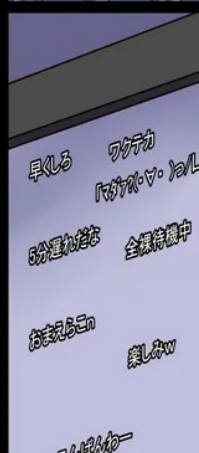
八番目の手紙

20××年

2月
14日

朝霧聡一様











ONIAV-117 本編 片面2層 ステレオ MPAG 2

鬼島映像



借金若女将
変態家畜宣言

ONIAV-117



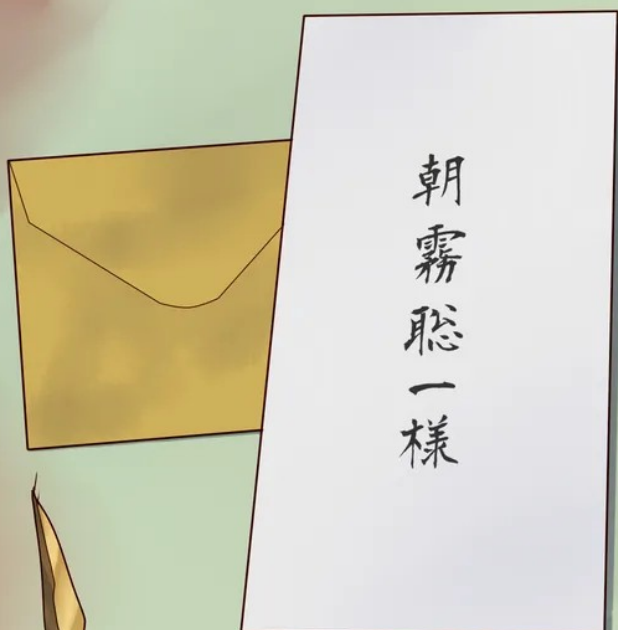
あなた、助けて

九番目の手紙

20××年

2月20日

朝霧聡一様





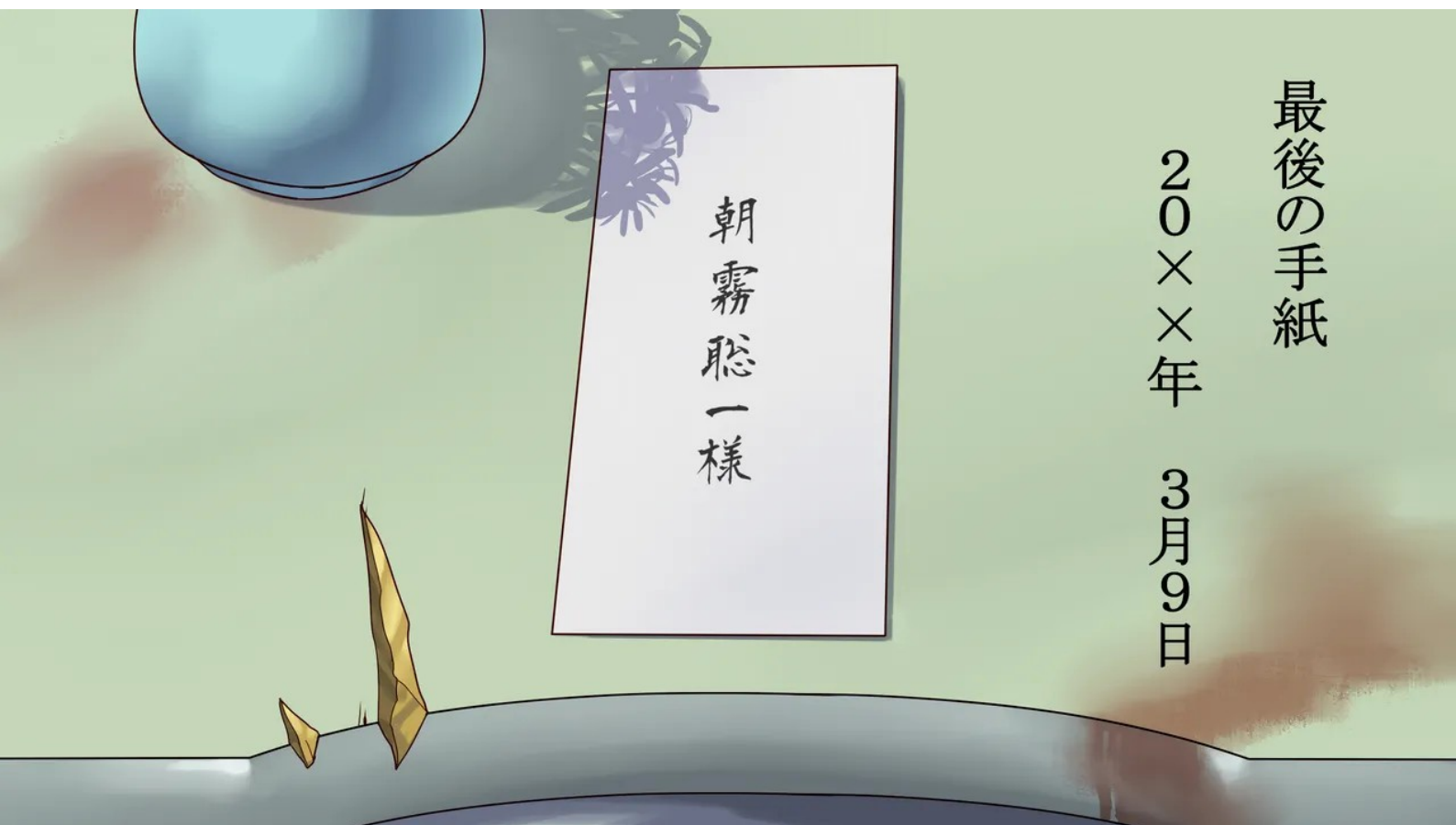


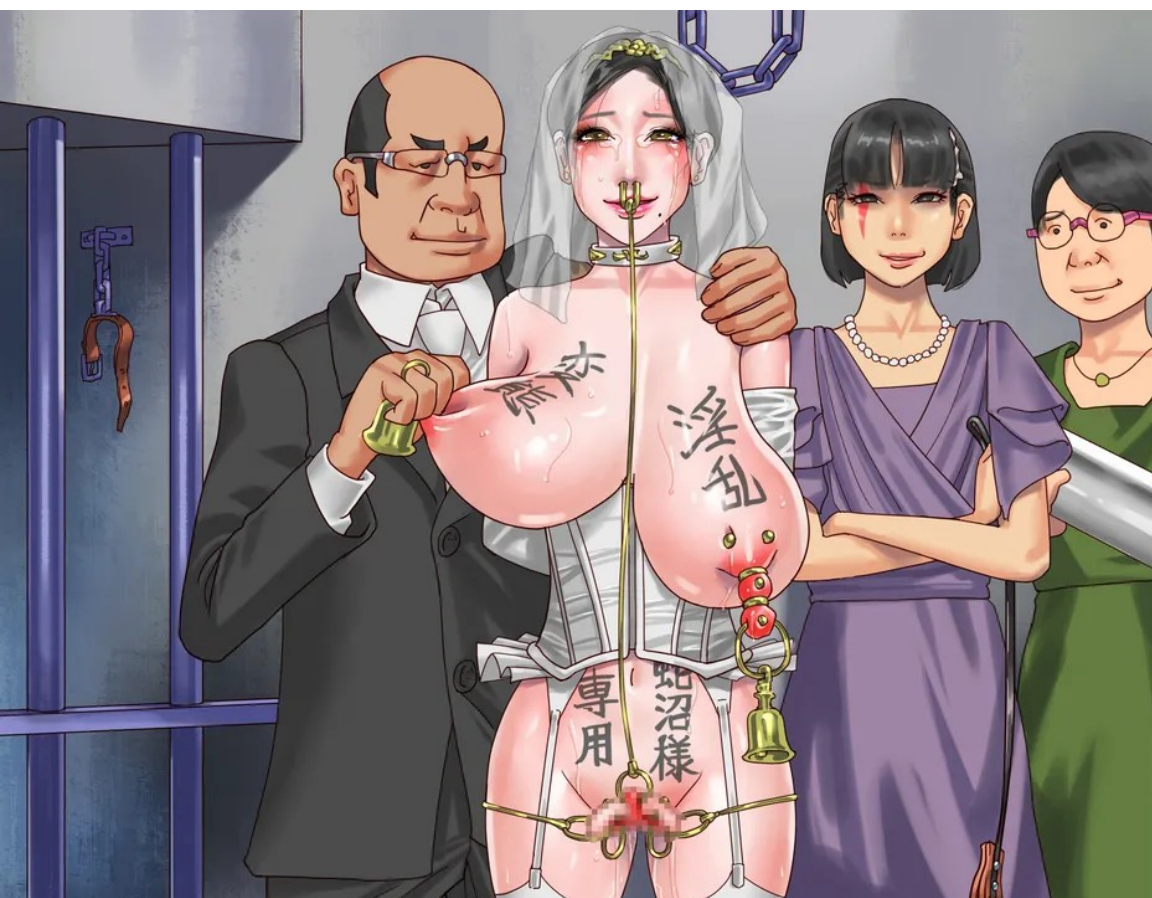


最後の手紙

20××年 3月9日

朝霧聡一様





あなた、離婚届にハンコを捺してくれてありがとう。

わたし、蛇沼様の変態家畜妻として飼っていただくことになりました。

ジュリさまをはじめ、皆様に盛大に祝っていただきました。

蛇沼様は、ずっと私を狙っていたんですって。

蛇沼様の家畜妻になれて、私とっても幸せよ。

さようなら、聡一さん。元気でね。

お買上げありがとうございました！

今回の作品はいかがでしたか？
ご感想やリクエストなどございましたら、
ぜひブログにお寄せください。
ブログのタイトルは「奴隷夫人2」です。
ありがとうございました!!

2017年2月 納屋



とある日の昼下がり。朝霧屋の館内に、奴隸若女将の哀訴の声が流れる。
「後生ですッ！お許しをッ！お許しをッ！」
「うるさいね、裏切り者のくせに。つべこべ言うんじゃないよ！」

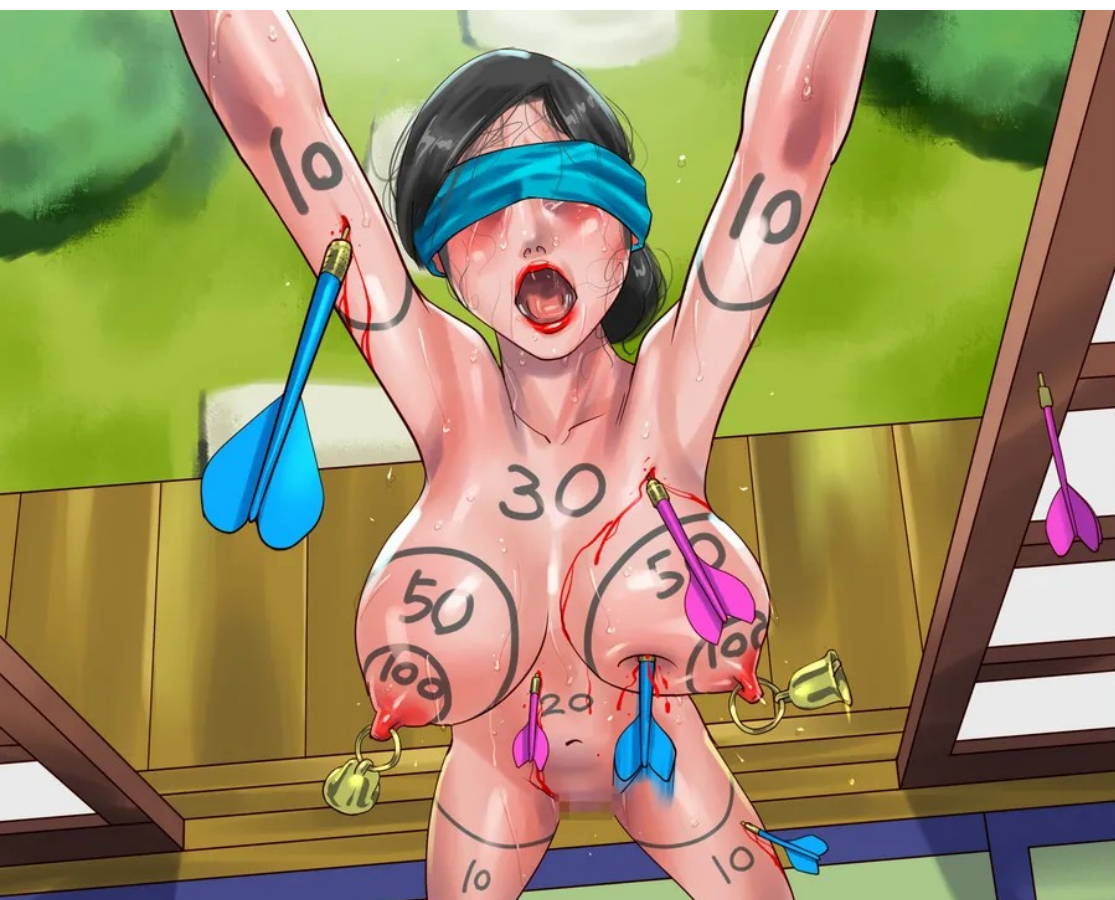
朝霧屋の従業員たちによって、一糸まとわぬ全裸のまま、檻から引きずり出された玲香は、ズルズルと引きずられ、中庭に面した一室に連れ込まれてしまった。
従業員たちはよつてたかつて玲香の両手首に麻縄を巻きつけ、鴨居からバンザイの格好で吊るしてしまう。
ほっそりとした足首にも麻縄を巻きつけられ、左右からグイと引っ張って固定された。

「ひーッ！こ、こんな格好！許してッ！」
一糸まとわぬ全裸を、すべてをさらけ出す大の字にくくりつけられ、玲香はあまりの羞恥に、真っ赤に染まった頬を肩にこすりつけて身悶えた。





「フン、いやらしい姿をさんざんビデオに撮らせてるくせに、いまさら
気取るんじゃないわよ!」
そう言いながら玲香の乳首をグリグリと指で潰すのは、女中頭の玉子である。
「ヒイーッ!いい、痛いッ!お願い、玉子さん止めてッ...!」
かつて仲の良かった女中頭の豹変ぶりにとまどい、玲香は哀しげな
悲鳴をあげた。
「フン、何を言うの。いたぶられるのが大好きなマゾ女にサービスして
やってるんじゃないか」
従業員たちは、番頭・蛇沼の巧みな話術によって、朝霧夫婦を許しがたい
裏切り者だと思いつまされていくのだ。
「朝霧夫婦は、自分たちの勝手な都合で朝霧屋を廃業するつもりであったが、
自分と鬼島氏の二人がなんとかそれを阻止したのだ」と蛇沼は
説いてまわったのである。



「裏切り者には罰を与えないとな」「そうよそうよ」
「ムチでお尻をぶちのめしてやりましょうよ!」「百叩きの刑がいいわ!」
「男どもで輪姦してやろうぜ。うへへへ」「それもいいなあ」
「ちよっと!それ、あんたたちがやりたいだけでしょ!」
「わたし、良い物持ってるわよ」
そう言ったのは、女将の見張り役として鬼島氏のところからやってきた、
ジュリという女である。
女が取り出したのは、ダーツのセットであった。
「これでダーツ大会をやるかい?きつと面白いわよ」
「人間ダーツか。おもしろそうね」
「参加費をあつめて、優勝者が総取りにしよう」「一回100円ね」
「ヒヒヒ。女将に罰を与えられて、ゲームも楽しめる。一石二鳥だな」



ジュリや番頭蛇沼の影響を受けて、すっかりサディストに変貌した従業員たちは、口々におそろしい相談をはじめた。

「ご、後生ですから、そんな恐ろしいことは止めて… 許して……」
恐怖におののく哀れな奴隷女将の言葉など聞こえないかのように、
従業員たちは喜々としてゲームの準備にとりかかった。

大の字に礫られた女将の白い裸体に、マジックで得点を書き込んでいく。
「オッパイは50点。乳首は100点。それいはいは30点」 「腹は的が
大きいから、20点だな」
「目に当たるとまずいから、目隠しをしてやろう」
「やめて… 許して… 許して…」

「次は芳恵さんの番ね」「よし、よく狙って… えいっ！」
女中の芳恵が投げたダーツは、見事に左の乳房に突き刺さった。乳首リングに取り付けられたベルがチリンチリンと鳴る。傷口からは鮮血が吹き出した。
「ヒギイイイイイイー……」
玲香の口から、魂消るような悲鳴がこぼれる。
目隠しをされ、いつ、どこにダーツが刺さるかわからない恐怖に、
玲香は泣き叫んだ。

すでに数ゲーム経過していると見えて、哀れな生贄の身体は無数のダーツが突き刺さり、傷口から吹き出した鮮血に塗れ、目隠しをされた顔は涙とよだれと鼻水でぐちゃぐちゃだ。

「はい、今回は板長の黒田さんの勝ちね」「さすが板長、刃物の扱いが上手いや」「あははは」

「勝ち逃げは許さないわよ。もうひとゲームやるわ」
「さんせい!」「いいね!」

「嫌あああああッ!もう、もう許してえええええッ!!」

日が暮れかかる朝霧屋の館内に、奴隷女将の悲痛な叫び声が響き渡った。





「女将さん、餌を持ってきたわよ…って、あら」
女中の芳恵が残飯の入った犬用の餌皿を持って入ってくると、番頭の蛇沼が檻の隙間からベニスを突っ込んで、玲香にフェラチオを強要しているところだった。
「へへへ、変なところだったな」「別に気にしないわよ」
玲香は一糸まとわぬ全裸を後ろ手にしばられ、真つ赤に上気した美貌を前後に振りたて、口にふくまされた蛇沼の野太いものを懸命にしごいていた。
「鬼島さんの命令でね、女将にフェラチオの特訓をしているのさ」
朝霧屋の一階、布団部屋の片隅に置かれた、広さ一畳ほどの狭く頑丈な木の檻。そこが奴隷になった玲香の部屋であった。檻の中には粗末な布団とオマルしかない。
玲香は一糸まとわぬ全裸を麻縄で緊縛され、この狭い檻の中で監禁飼育されているのだ。



「女将さん、ここに餌置くわよ。さつさと食べちゃって」
「は、はい。あ、ありがとうございます…」
玲香は後ろ手に緊縛された不自由な裸身を折り曲げると、素直に、
犬用の餌皿に直接口をつけて食べはじめた。
ここへ入れられた当初はしぶん抵抗したのだが、そのたびに鞭や
浣腸器で仕置にかけられ、この頃はすっかり従順になってしまっていた。
「それにしても、あの綺麗でブライドの高い女将さんが、
こんな姿になるなんてねえ」
「すっ裸で四つん這いであさましくエサをくらって、まるで
メス犬じゃないの、ほほほ」
かつての従業員たちに口々に揶揄され、玲香の心は屈辱と惨めさで
張り裂けそうになる。
しかし、ここへ監禁されてから約一ヶ月、昼夜を問わず、いたぶられ、
責めぬかれ、拷問にかけられる日々を過ごすうちに、いつしか玲香は
自分の心の奥底に、妖しいマゾの悦びが芽生え始めていることに
気がついていた。



「メス犬ならメス犬らしく、発情させてやろうかねえ」
ベテラン女中のひとりだが、手にした木の棒を檻の隙間から差し込み、
玲香の乳首をグリグリと突き詰る。すると他の女中たちも面白がつて、
手にした木の棒を差し込み、玲香の身体を思い思いに突つついて
いたぶりはじめた。

「や、やめて下さい… み、惨めですわ…」弱々しく反論しながらも、
さしたる抵抗はせず、残飯を食べ続ける玲香であった。

「お前が一日でも早く、立派な一人前の変態マゾ奴隷になれるよう、
みんなで協力してやってるんだよ。ありがたいと思つたら

お礼くらい言つたらどうなの」

「フフフ。じゃあ俺はこつちをかわいがつてやろう」

そう言いながら蛇沼は黒いゴム製の太いねじり棒を手にとると、先端に
つばを塗りつけ、玲香の可憐なアヌスにグリグリとねじ込みはじめた。



「あううッ...! そ、そこはかんにんッ...!」
玲香の声がなまめかしくねばつく。
言葉とは裏腹に、連日の過酷なアナル調教によって、すっかり開発された
玲香のアヌスは、太いゴムのねじり棒をすんなり飲み込んでいく。
「フフフ、そんなことを言いながら、あさましくオ○ンコを
濡らしてるのはどういうわけだ」
「あさましい女ね。食事中に尻穴にいたずらされて濡らすなんて」
「やっぱりマゾなのね」
「変態よ」「見損なったわ」「淫乱」
「あはははは」「ヒヒヒヒヒ」
かつてはこの朝霧屋の女主人だった自分が、今は奴隷の身分に墮とされ、
かつての使用人たちに残酷にいたぶられ、虐められ、笑い者にされている...
そんな惨めな我が身を思うと、絶望と屈辱に胸がドス黒く潰れるような
気分になる。
それと同時に、惨めな目にあわされればあわされるほど、妖美なマゾの
愉悦がいつそう膨れ上がるのだ。
尻穴をいたぶられ、秘奥からとめどもなくキラキラと透明な愛液を
流しながら、玲香は残飯を食べ続けるのであった。



チリン… チリン… チリン…
雪景色の中を、鈴の音が近づいてくる。

「あうううッ…もう、もう歩けませんわ。後生ですから、許してください…」
雪が降り積もる朝霧屋の中庭で、奴隷女将の喉から哀訴の言葉がこぼれる。

一糸まとわぬ全裸を麻縄で後ろ手に厳しく緊縛され、コブ縄でグリグリと股間を擦り上げられながら、玲香はもう数時間も中庭で引き回しにかけられていた。
履物をゆるされない玲香の足の裏はしもやけで真っ赤に腫れあがり、何度も鞭打たれた乳房や臀部には、うっすらと血が滲んでいる。



朝霧屋は中庭を中心にコの字型の構造をしており、ほぼすべての客室から中庭での引き回しを鑑賞できるようになっている。近頃は奴隷女将の引き回しやその他のSMシヨウが口コミで評判を呼び、朝霧屋はその手の趣味のある人々の間で、すっかり人気の旅館になっていた。

「うるさいわね。まだ口答えするのかい！」

ジュリは力任せにコブ縄を引き上げた。

固い縄コブに秘裂をゴリツと擦り上げられ、玲香の脳内で激痛がスパークする。

「グキイーーーーーッッッ！」

玲香の喉から金属音のような悲鳴があがった。

「罰として、あと10周追加だよ。それが終わったら、

風呂に入って身体を綺麗にしておきな。

今夜は東棟の藤の間で客を取ってもらうからね。10名の団体客だよ」



「ん…くちゅ…あむ…」 「んっ…んん…」
Q市内にある、とあるマンションの一室。ここは鬼島映像の
AV撮影スタジオだった。
ピンク色の妖しい照明が照らす室内には、数々のSM器具や
ダブルベッドなどが置かれている。
ベッドの上では、黒い革製の拘束具をつけられた二人の色白の美女が、
淫靡なレズプレイを強要されていた。
二人は革製の手錠で後ろ手に拘束された不自由な身体を寄せ合い、
ローションにまみれた乳房をこすり合わせ、キスを繰り返す。
彼女たちの背後にはそれぞれ男がついて、指やねじり棒を使いながら
二人のアヌスを丹念にもみほぐしている。



ひとりには朝霧玲香。鬼島によって奴隷にされた朝霧屋の女将。
もうひとりの女は上月冬花。彼女もまた、鬼島の手によって奴隷に
堕とされた女だった。

「もつと気分を出すんだよ！舌を絡ませて、
オッパイをこすりあわせるんだ！」
そう言いながらジュリは手にした乗馬用の鞭で、玲香と冬花の尻を
ピシヤリと叩く。
「んむーッッ！」「んううッッ！」
鞭の恐怖から、二人はいつそう身体を寄せ合い、
情熱的なキスを再開する。
冬花の乳首と自分の乳首がこすれ合うたびに、玲香の脳内に
ビリビリと甘い衝撃が走る。
(冬花さんすごいテクニク…きつと、いままでたくさん調教を
受けてきたのね…)



二人が股間に締めさせられた黒革製のペニスバンドは、内側にもデイルドオが取り付けられている双頭タイプのものであった。そのため、ペニスの先端を刺激されると、そのままダイレクトに刺激が膣内に伝わるのだ。

ペニスの先端がぶつかるたびに、二人の口からは「あうッ！」

「ああんッ！」と喘ぎ声が漏れる。

「あっし二人はびったりと身体を密着させ、夢中でペニスをこすり合わせているのだった。」

「まったく浅ましい女どもだね、いつまでそうやってペニスをこすっているんだい」

「どれ、そろそろ本格的につながせてやろう」



男どもは二人の身体を引き離すと、冬花に四つん這いの姿勢をとらせた。執拗なマッサージによってすっかり揉みほぐされた冬花のアヌスは充血してふっくりと蕩け、腸液でぬらぬらと光っている。

「玲香、お前が男役になって、冬花を犯すんだ」

「そ、そんな…私、そんなことできませ… ヒー… ツ!!」

口答えをした玲香の尻に、ジュリの鞭が炸裂する。

「まだそんなこと言ってるのかい! またグリセリン原液の浣腸が欲しいとみえるね!」



怯える玲香に、冬花がやさしく語りかける。
「玲香さん、私たちは奴隷なのよ。諦めて、なんでも皆様のご命令に従うしかないの。逆らっても、もつと酷い目にあわされるだけよ。ほら、ここに入れて...」
そういつて冬花は、高く持ち上げた美尻を振り立てるのだった。
「ご、ごめんなさい、冬花さん... おっしやる通りね...」
玲香はそう言うと、両手で冬花の腰をつかみ、自らの股間に生えたおぞましいペニスの先端を冬花のアヌスにあてがい、ゆっくりと沈め始めた。

「ひーッッ! ひーッッ!」
「ああッ! そこ! そこよ! いいわッ!」
数刻後、二匹の淫らな白蛇は、ベッドの上で汗だくになって絡み合い、あさましいレズセックスの痴態を繰り広げていた。四つん這いになり、上になり、下になり、対面座位、シックスナイン、お互いのペニスをしゃぶり、乳房をもみ合い、全身に情熱的なキスの雨をふらせる。



とくに奴隷の先輩である冬花のテクニクはすごく、いつしか玲香は防戦一方になっていった。
冬花は玲香の背後にまわると、太いペニスで玲香のアヌスをリズミカルに突き上げながら、細い白魚のような指先で玲香のペニスをニユルニユルとしごき上げ、もう片方の手で玲香の乳首をクリクリと責め立てる。
首筋や耳たぶにチュパチュパとキスをしながら、
「好きよ玲香さん」「可愛い人ね」「もつともつと気持ちよくなっているのよ」と甘い声で囁く。
どうやら冬花は筋金入りのレズビアンらしかった。
ふだんの過酷な責めとは違い、甘く優しいとろけるようなレズセックスの快楽に、玲香は我を忘れて身悶えた。
「まったく、冬花の女好きは手に負えないわね...」
見ているジュリたちも苦笑するしかないのであった。